

中学校

「火星探査」からロボットコンテストへ。そして、世界3位に！

附属中学校・科学部顧問

福田 哲也

火星探査から ロボットコンテストへ

本校では、2002年より、アイオワ州のウエストブランチミドルスクールの生徒と「火星探査」をテーマにしたマーズローバープロジェクトをおこなってきました。この活動をしている中でFLIL（ファースト・レゴ・リーグ）というロボットコンテストと出逢うことになりました。FLILは、出場者数20万人の世界でもっとも大きなロボットコンテストです。火星探査がテーマではありませんが、今までの活動と類似している点が多々ありました。そして、2005年9月より、本校科学部を中心にFLILに挑戦しました。また、アメリカの中学校もアメリカでFLILの大会に参加しました。

FLILロボット コンテストとは

FLILでは、今年のテーマである「海」についての調査、研究の発表（リサーチ）と、世界規格のシートの上で9つのミッションをするロボットの製作の成果を競



開催国オランダ



ロボットパフォーマンス



優勝したトルコチームと

います。リサーチにおいて、生徒たちは、臨海学習のことや回転寿司のネタやウミガメの生態について調査・研究しました。また、ロボットにおいては火星探査機の製作で培った技術を存分に使い、スピードを重視したシンプルなロボット製作を目指しました。

そして、2005年12月に開催されたFLIL近畿大会にて優勝し、さらに2006年2月の全国大会（横浜）においても、各地区の強豪チームと競い合い、トータルプレゼンテーション賞（総合3位）を獲得し、ヨーロッパでの世界

世界大会において

大会に駒を進めることになりました。

世界大会は5月5日から3日間開催され、32カ国の代表である52チームがオランダのアイントホーヘンに集まりました。本校からもメンバーの代表3名が参加し、慣れない英語でのプレゼンテーション、さらに強豪がひしめく中でロボットパフォーマンスに挑戦しました。

第1日目は、緊張とロボットの調整不足で十分な結果はでませんでした。2日目は健闘し、総合5位で見事予選

を突破し、決勝リーグに進みました。さらに準々決勝では、8チーム中でトップの成績を挙げ、準決勝へ。残念ながら準決勝で敗れてしまいましたが、ロボットパフォーマンス総合3位という素晴らしい成績を収めました。しかも、日本チームとして、初めてのビッグタイトルの受賞という快挙を本校生徒は成し遂げました。また今回、世界の多くの子どもたちと交流をもつことができたことも、大きな経験になりました。トルコ、アメリカ、ハンガリー、オランダ、イギリス、デンマーク、韓国、シンガポール、中国、ノルウェー！...などなど、本校生徒たちはプレゼントである手製のブックマークをもって、多くの国々の子どもたちと楽しそうに交流していました。このようなつながりが、大きな国際的な視野をもつきっかけになるだろうと感じています。いつかきっと、交流している米国の中学生と、ロボットコンテストの世界大会で逢うことを夢見て活動を続けています。